



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <https://www.nippon-gear.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 03-6363-3170

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,184	△5.1	214	—	231	—	194	198.3
2022年3月期第2四半期	3,356	△10.4	△174	—	△169	—	65	△62.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	13.68	13.68
2022年3月期第2四半期	4.59	4.58

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	11,781	8,924	75.8	626.83
2022年3月期	11,365	8,794	77.4	617.57

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,924百万円 2022年3月期 8,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2023年3月期	—	2.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	5.7	330	177.6	360	191.7	270	△8.7	18.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,280,000株	2022年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	42,226株	2022年3月期	42,151株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	14,237,792株	2022年3月期2Q	14,237,965株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症状況は緩やかに改善したものの、ウクライナ情勢の長期化などの国際情勢に関連した急激な円安の進行が資源価格の高騰に追い打ちをかけるなど、国内外の経済は予断を許さない状況が続き、未だ先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期累計期間の受注高は、46億83百万円（前年同期比33.9%増）、売上高は、31億84百万円（前年同期比5.1%減）となりました。一方、当第2四半期会計期間末の受注残高は、42億44百万円（前事業年度末比54.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が19億42百万円（前年同期比21.0%減）、販売費及び一般管理費は10億27百万円（前年同期比4.2%減）となりました。これにより、営業利益は2億14百万円（前年同四半期は営業損失1億74百万円）、経常利益は2億31百万円（前年同四半期は経常損失1億69百万円）、四半期純利益は特別利益に退職給付に係る数理差異償却益65百万円を計上したことにより、1億94百万円（前年同期比198.3%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

①歯車及び歯車装置事業

a. バルブ・アクチュエータ

受注高は原子力向けが増加したことより前年同期比32.0%増加いたしました。売上高は原子力向けが減少したことより前年同期比19.5%減少いたしました。

b. ジャッキ

受注高は鉄鋼、半導体・液晶向けが増加したことにより、前年同期比52.0%増加いたしました。売上高は半導体・液晶向けが増加したことにより、前年同期比35.2%増加いたしました。

c. その他増減速機

受注高は石油・ガス、化学向けが増加したことにより、前年同期比44.5%増加いたしました。売上高は石油・ガス、化学向けが減少したことより、前年同期比35.6%減少いたしました。

d. 歯車

受注高は特殊車用、鉄道船舶用が増加したことにより、前年同期比73.3%増加いたしました。売上高は特殊車用が増加したことにより、前年同期比20.9%増加いたしました。

②工事業

受注高は電力、上下水道向けが増加したことにより、前年同期比16.0%増加いたしました。売上高は原子力、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比28.0%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ3億69百万円増加し85億39百万円となりました。これは主に売上債権が4億51百万円減少いたしました。現金及び預金が6億77百万円、棚卸資産が1億85百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ46百万円増加し32億42百万円となりました。これは主に投資有価証券が47百万円減少いたしました。有形固定資産が21百万円、前払年金費用が70百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ1億79百万円増加し18億91百万円となりました。これは主に仕入債務が84百万円減少いたしました。未払法人税等が1億20百万円、1年内返済予定の長期借入金が29百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億6百万円増加し9億65百万円となりました。これは主に長期借入金1億25百万円増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ1億30百万円増加し89億24百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が34百万円減少いたしました。利益剰余金が1億66百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ6億77百万円増加し42億5百万円(前事業年度末比19.2%増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、6億77百万円(前年同四半期比78.0%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益2億97百万円、減価償却費84百万円、売上債権の減少6億25百万円の収入に対し、前払年金費用の増加70百万円、棚卸資産の増加1億85百万円、仕入債務の減少84百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1億25百万円(前年同四半期比96.0%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出94百万円、無形固定資産の取得による支出29百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、1億25百万円(前年同四半期に支出した金額は4百万円)となりました。これは主に長期借入れによる収入2億50百万円に対し、長期借入金の返済による支出94百万円、配当金の支払額28百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,528,370	4,205,432
受取手形、売掛金及び契約資産	2,874,622	2,422,703
商品及び製品	124,066	161,542
仕掛品	258,135	385,102
原材料及び貯蔵品	1,242,367	1,263,026
その他	142,085	101,496
流動資産合計	8,169,649	8,539,304
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	512,363	534,340
有形固定資産合計	1,525,654	1,547,631
無形固定資産	117,685	121,589
投資その他の資産		
投資有価証券	634,895	587,618
前払年金費用	838,555	908,870
その他	83,506	81,303
貸倒引当金	△4,718	△4,718
投資その他の資産合計	1,552,238	1,573,074
固定資産合計	3,195,578	3,242,295
資産合計	11,365,227	11,781,599
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,092,331	1,007,768
1年内返済予定の長期借入金	150,416	179,540
未払法人税等	—	120,063
賞与引当金	165,601	167,247
その他	303,721	416,813
流動負債合計	1,712,070	1,891,433
固定負債		
長期借入金	500,176	626,146
退職給付引当金	1,950	1,475
資産除去債務	166,864	166,953
その他	190,077	170,890
固定負債合計	859,069	965,464
負債合計	2,571,139	2,856,898

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,542	844,542
利益剰余金	6,344,731	6,511,028
自己株式	△15,499	△15,520
株主資本合計	8,562,574	8,728,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230,300	195,851
評価・換算差額等合計	230,300	195,851
新株予約権	1,213	—
純資産合計	8,794,088	8,924,701
負債純資産合計	11,365,227	11,781,599

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,356,422	3,184,624
売上原価	2,457,942	1,942,178
売上総利益	898,479	1,242,445
販売費及び一般管理費	1,072,916	1,027,571
営業利益又は営業損失(△)	△174,437	214,874
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	10,080	12,196
出向者負担金	-	4,307
その他	2,014	2,637
営業外収益合計	12,102	19,151
営業外費用		
支払利息	3,831	2,204
支払手数料	2,250	750
その他	613	58
営業外費用合計	6,694	3,012
経常利益又は経常損失(△)	△169,028	231,013
特別利益		
退職給付制度改定益	277,018	-
退職給付に係る数理差異償却益	-	65,282
新株予約権戻入益	-	1,213
特別利益合計	277,018	66,495
税引前四半期純利益	107,989	297,509
法人税等	42,703	102,736
四半期純利益	65,285	194,772

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	107,989	297,509
減価償却費	103,878	84,557
受取利息及び受取配当金	△10,087	△12,205
支払利息	3,831	2,204
為替差損益(△は益)	△2	△23
有形固定資産除却損	6	46
新株予約権戻入益	-	△1,213
賞与引当金の増減額(△は減少)	△773	1,646
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△266	△475
前払年金費用の増減額(△は増加)	△293,975	△70,315
売上債権の増減額(△は増加)	551,546	625,871
契約資産の増減額(△は増加)	-	△56,299
棚卸資産の増減額(△は増加)	195,617	△185,101
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,689	△84,563
未払又は未収消費税等の増減額	△126,020	5,516
その他	△48,810	60,822
小計	397,242	667,976
利息及び配当金の受取額	10,087	12,205
利息の支払額	△3,814	△2,162
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△22,770	△269
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,745	677,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,332	△94,550
無形固定資産の取得による支出	△13,212	△29,108
投資有価証券の取得による支出	△2,056	△2,401
敷金及び保証金の差入による支出	△200	△120
その他	674	466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,127	△125,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	280,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△252,953	△94,906
リース債務の返済による支出	△3,400	△1,599
自己株式の取得による支出	-	△20
配当金の支払額	△28,471	△28,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,824	125,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	311,795	677,062
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,846	3,528,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,261,642	4,205,432

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として10年で発生の翌事業年度から費用処理をしておりましたが、前事業年度において確定給付企業年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行したことに伴い、確定給付企業年金制度は退職した元従業員のみとなった結果、平均残存勤務期間が無くなったため、第1四半期会計期間より一括で処理する方法に変更しております。

この変更により従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ12,060千円減少し、税引前四半期純利益が53,221千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期累計期間において、新たな追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等についての重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	2,744,691	611,730	3,356,422
一定の期間にわたり移転される財	-	-	-
顧客との契約から生じる収益	2,744,691	611,730	3,356,422
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	2,744,691	611,730	3,356,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,744,691	611,730	3,356,422
セグメント損失(△)	△157,799	△16,637	△174,437

(注) セグメント損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	2,401,422	604,490	3,005,913
一定の期間にわたり移転される財	-	178,711	178,711
顧客との契約から生じる収益	2,401,422	783,201	3,184,624
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	2,401,422	783,201	3,184,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,401,422	783,201	3,184,624
セグメント利益	132,719	82,155	214,874

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。